

# かのん便り 2012 秋号

（株）山梨福祉総研  
発行 広報委員会  
発行日 平成24年9月1日

皆さん、こんにちは。いつも「かのん」をご支援いただきありがとうございます。

残暑厳しいですが、もう少し”がまん”です。

がんばりましょう！

今回の「かのん便り」は、発行より3回目！

いろいろと皆さんにお伝えしたいことがあります。

裏面にぎっしりと……。

是非、ご家族皆様でご覧になってくださいね。

各デイサービスの利用者様が作った作品です。今後、ブログやホームページでも作品など紹介していきたいと思っておりますので、是非ご覧下さい。

<http://www8.plala.or.jp/rehakanon/>

## 作品介绍



新しく入ったかのんの職員の方たちの一言です。

名取 恵理  
（本社デイ）

「がんばります。よろしくお祈いします。」

塚原 涉  
（訪問看護）

「南アルプス市出身の塚原です。一緒にリハビリ頑張りましょう。」

藤原 路子  
（若草デイ）

「いつも笑顔で頑張ります。よろしくお祈いします。」

11/18(日)

「桃源文化会館1F桜の間」にて

『かのん文化祭』を開催します！

利用者様の作品を募集しています！

詳しいことはスタッフまでお問い合わせ下さい。



# 認知症



6:01

今回広報委員会では、CM等でも取り上げられ問題とされている『認知症』をテーマに、概要や各専門職からの視点での内容などを掲載していきたいと思えます。

## 第1回 「認知症」とは

年をとると誰もが名前をすぐに思い出せなくなったり、物をどこにしまったのか忘れてしましますが、認知症は加齢による物忘れとは違い正常であった脳の働きが徐々に低下してしまう病気です。認知症による様々な症状から以前のように日常生活をうまく送ることができなくなります。

認知症がどんな病気かを知ることによって認知症の本人への対応の仕方や介護に対する理解が深まります。

### 主な認知症の種類

・根本的な治療が困難で進行を遅らせる治療(対症療法)を行う認知症

アルツハイマー型認知症

レビー小体型認知症

前頭側頭型認知症

・原因となる病気を治療するなど予防や治療が可能な認知症

血管性認知症

正常圧水頭症

慢性硬膜下血腫

甲状腺機能低下症

認知症の種類割合:アルツハイマー型認知症約63%、血管性認知症約19%、その他約19%

中核症状:ほとんどの方にみられますが病気の進行とともに徐々に強くなります。

数分前、数時間前の出来事をすぐに忘れる

同じ内容の話や質問を繰り返す

財布や鍵を置いた場所を思い出すことができない

日付や曜日がわからなくなる(見当識障害)

スイッチの消し忘れが増える

きちんと薬を飲むことができなくなる

季節に合った服装を選ぶことができなくなる

仕事や家事の要領が悪くなる(実行機能障害)

通いなれた場所で道に迷う

行動・心理症状:すべての方にみられるわけではなく、環境や家族の接し方によって軽くなったり強く現れる事もあります。

イライラする場面が多くなる

些細な事で腹を立てることが多くなる

今までの日課をしなくなる

誰もいないのに、誰かいると主張する(幻覚)

自分の物を誰かに盗まれたと主張する(物盗られ妄想)

無目的に屋外に出て歩き回る

認知症かな?と思ったら、ためらわずに早めに医師に相談しましょう。

認知症の種類によって、症状の現れ方や治療方法はそれぞれ異なりますが、いずれにせよ、早い段階で診断を受けて、適切な治療を開始することが大切です。

